



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市東総合スポーツセンター
 試合区分：少年男子 準々決勝
 開催期日：2009年10月3日(土)
 開始時間：13:50

GAME No. 1003F3

主審：谷地 温
 副審：平澤 明男

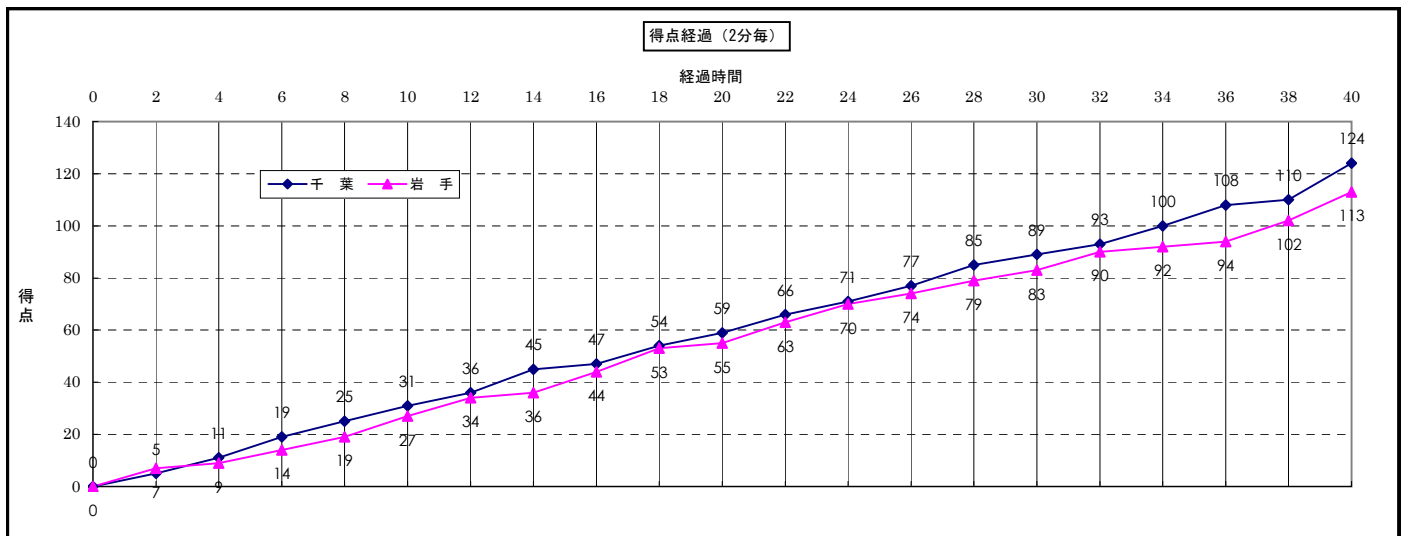
Team A	○	31 -1st- 27 28 -2nd- 28 30 -3rd- 28 35 -4th- 30	●	Team B
千葉	124		113	岩手

TEAM A		千葉					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森山 翔太	41	7	6	8	3
5	*	藤岡 昂希	15	0	7	1	3
6	*	齋藤 滉太	16	0	5	6	3
7	*	安田 太樹	16	0	8	0	5
8		出羽 峻一	0	0	0	0	0
9		尾崎 達規	0	0	0	0	0
10	*	服部 雄登	31	5	5	6	1
11		岡田 福嗣	2	0	1	0	5
12		城間 真斗	1	0	0	1	0
13		向後 史彦	2	0	1	0	0
14		平田 和哉	0	0	0	0	0
15		山田 侑樹	-	-	-	-	-
Coach		飯沼 加寿夫	-	-	-	-	-
TOTAL			124	12	33	22	20

TEAM B		岩手					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	佐々木 恭	25	0	11	3	2
5		田中館 洸	13	1	5	0	5
6	*	大森 怜	11	1	3	2	5
7		千葉 太博	16	0	8	0	3
8	*	澤口 誠	13	2	2	3	4
9	*	早川 信太郎	16	4	2	0	5
10	*	晴山 ケビン	6	0	3	0	0
11		似鳥 晃太	8	2	1	0	3
12		工藤 拓人	5	1	1	0	2
13		田上 翔	0	0	0	0	0
14		小田島 涼介	-	-	-	-	-
15		宮野 悠	0	0	0	0	0
Coach		室岡 茂彰	-	-	-	-	-
TOTAL			113	11	36	8	29

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	14:56	-	23:41	37:26		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	13:22	-	34:28	36:39		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、ディフェンスは互いにマンツーマン。岩手 #8澤口の3Pで先制。すぐに、千葉 #5藤岡のノールックパスから #7安田がシュートを沈め逆襲。その後一進一退の攻防が続くが、中盤、千葉の積極的にパスカットを狙うディフェンスから、速攻が出始め、#7安田の連続得点などで点差が開く。しかし終盤、岩手 #9早川、#11似鳥が連続で3Pを決め追撃。千葉31-27岩手で1Qを終える。

2Q、開始早々岩手がタイトなディフェンスからペースを掴む。しかし千葉は #4森山の3Pなどで落ち着いて加点。開始3分、岩手 #5田中館が3回目のファールを犯したのをきっかけに、流れが千葉に傾くが、すかさず岩手はタイムアウトを請求し、冷静に対応。その後、岩手 #7千葉が連続でミドルシュートを決めるなど点数を重ね、残り2分ついに逆転。しかし、すぐさま #4森山が3Pを決め千葉が再逆転。また、終了間際に #10服部が3Pを沈め、千葉59-55岩手の4点差で前半を終える。

3Q、序盤 #4佐々木の連続ミドルシュートから徐々に流れを掴んだ岩手は、速い展開から得点し点差を詰める。千葉は残り6分、タイムアウトで建て直しを図るが、直後 #4佐々木のシュートが決まり岩手が逆転に成功。しかし、悪い流れを #4森山の3Pが断ち切り再び千葉がリード。また、残り1秒で #10服部がドライブからループシュートを決め、千葉89-83岩手で千葉が点差を広げ3Q終了。

4Q、開始早々岩手は #9早川のドライブからファールを誘いバスケットカウント。そのファールで千葉 #7安田が5ファールで退場。岩手の反撃モードになるが、千葉は #10服部の3P、#11岡田のリバウンドシュートなどで追撃を許さない。そのまま点差が縮まらず終盤へ。追いつきたい岩手は、オールコートでプレッシャーをかけるがファールが重なる。千葉は落ち着いてフリースローを決めていき、そのままタイムアップ。千葉124-113岩手で、千葉が逃げ切り準決勝へ勝ち進んだ。

記載責任者 泉田 亮 (所属) 新潟県バスケットボール協会